

■株主メモ

決算期
定時株主総会
期末配当金支払株主確定日
中間配当金支払株主確定日
公告の方法

3月31日
6月
3月31日
9月30日
電子公告
当社ホームページ（下記URL）に掲載
<http://www.jti.co.jp/>
※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、
日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
（事務取扱場所）
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（お問い合わせ先 郵便物送付先）
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
（受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
（特別口座に関する手続用紙のご請求）
特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各
用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関のフリーダ
イヤル（0120-244-479）で24時間承っておりますので、ご利用ください。
口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

株式の諸手続き

ひと
ときを、
想う。

業績報告書

株主のみなさまへ

Volume33

- 2011年3月期決算報告
- 海外たばこ市場紹介「フランス」
- 旅路の先で出会う温故知新
- 国内たばこ事業における
製品供給の状況について
- 東日本大震災に関するJTグループの
被災地支援の取り組みについて
- JTバレーボールチーム
- ニュース掲示板
- テーブルマークで簡単レシピ



日本たばこ産業株式会社
〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル
電話:03-3582-3111
<http://www.jti.co.jp/>

この業績報告書は森林保護につながるFSC™認証紙（無塩素漂白）を使用するとともに、植物油インキを使用しています。

ひと
ときを、
想う。



ごあいさつ

東日本大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

2011年3月期決算は国内たばこ事業における昨年10月の増税・定価改定の影響に伴う販売数量の減少があったものの、単価上昇効果がその影響をほぼ相殺したこと、海外たばこ事業において換算上のマイナス影響及び販売数量の減少を単価上昇効果及び主要市場の現地通貨為替のプラス影響が上回ったこと等により売上高はほぼ横ばいながら増益となりました。

国内たばこ事業については、昨年10月の増税・定価改定の影響により販売数量が大幅に減少しました。また、東日本大震災による一部工場の被災等により、出荷する銘柄・数量を限定した状態での出荷となっておりますが、出荷する銘柄数を順次拡大し、8月には73銘柄の出荷体制といたします。震災影響を早期に克服すべく、最大限の努力をはらってまいります。

海外たばこ事業については、引き続きグローバル・フラッグシップ・ブランドの成長に注力し、イノベーション及びブランド投資を継続し、シェア伸長に努め、また着実な価格戦略による単価／ミックス効果をドライバーとして、堅実な利益成長を追求してまいります。

医薬事業では、後期開発品を含む臨床開発力の強

化、創薬研究力のさらなる向上に努めるとともに、早期の事業価値実現に向けた、戦略的な導出入機会の探索及び海外パートナーとの連携についても強化してまいります。

食品事業につきましては、引き続き、飲料事業、加工食品事業・調味料事業の注力事業分野に戦力を集中し、競争力、収益力の強化を図ってまいります。

この度の東日本大震災は、日本の社会が直面する戦後最大の試練であり、価値観、政治・経済・文化を含む日本の社会システム、エネルギー政策、企業経営にも、大きなインパクトを与えるだろうと認識しています。JTグループにおいても、「3.11以降」の事業運営はどうあるべきかを問い直し、他の日本企業と同様に、地震等の自然災害による事業への影響をできるだけ最小限とすべく、原材料の代替調達、国内外製造拠点の相互バックアップ体制等について一層強化し、これまで以上に積極的かつ自主的に事業環境の大きな変動に対応してまいり所存です。

株主の皆様におかれましては、当社の事業運営につきまして、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2011年6月
代表取締役社長

木村 宏

2011年3月期(2010年度)決算のご報告

●2011年3月期(2010年度)決算の概要

2011年3月期決算は、表1をご覧くださいとおりの調整後税抜売上高は微減、EBITDA(営業利益+減価償却費)、営業利益、経常利益、当期純利益は増益となりました。

調整後税抜売上高は、海外たばこ事業における為替換算レートのマイナス影響等により前年度比1.2%減収の1兆9,566億円となりました。

EBITDAは、国内たばこ事業における自動販売機に係る減価償却費の減少及び一部商標権の償却終了、海外たばこ事業における為替の影響等による減価償却費の減少等により、2.7%増の5,411億円となりました。

営業利益は、主に海外たばこ事業における単価上昇効果により10.9%増益の3,286億円となりました。

経常利益は、為替差損益の改善、支払利息の減少等により、22.4%増の3,124億円となりました。

当期純利益は、経常利益の増益を固定資産売却益の減少、東日本大震災に伴う損失を計上したこと等が一部相殺し、4.7%増の1,449億円となりました。

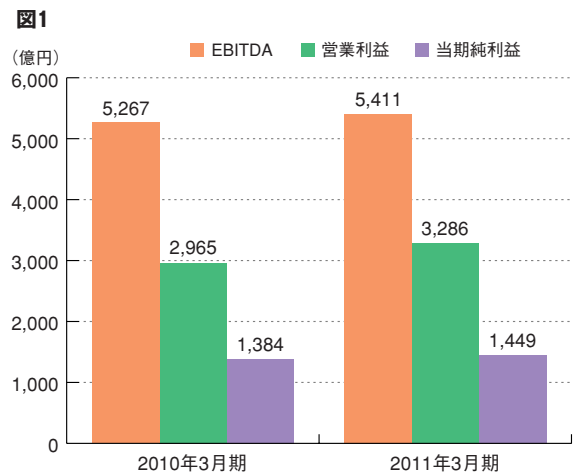


表1 2011年3月期(2010年度)決算

(単位:億円)

	2009年度実績	2010年度実績	増減
税込売上高	61,346	61,945	1.0%
調整後税抜売上高※1	19,809	19,566	△1.2%
EBITDA※2	5,267	5,411	2.7%
営業利益	2,965	3,286	10.9%
経常利益	2,553	3,124	22.4%
当期純利益	1,384	1,449	4.7%

※1 たばこ税、国内たばこ事業における輸入たばこ・国内免税・中国事業・その他及び海外たばこ事業における物流事業・葉たばこ販売・製造受託・その他を控除

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費 キャッシュ・ベースの利益

参考: のれんの償却影響を除く主要利益

営業利益	3,939	4,197	6.6%
経常利益	3,528	4,035	14.4%
当期純利益	2,358	2,360	0.1%

●各事業の概要

国内たばこ事業

国内たばこ事業については、昨年10月の増税に伴う定価改定の影響により、販売数量が11.3%減少しましたが、単価上昇効果により調整後税抜売上高はほぼ横ばい、EBITDA（営業利益＋減価償却費）及び営業利益は増益となりました。

JT製品シェアは64.1%、注力ブランドシェア

図2 国内たばこ事業実績

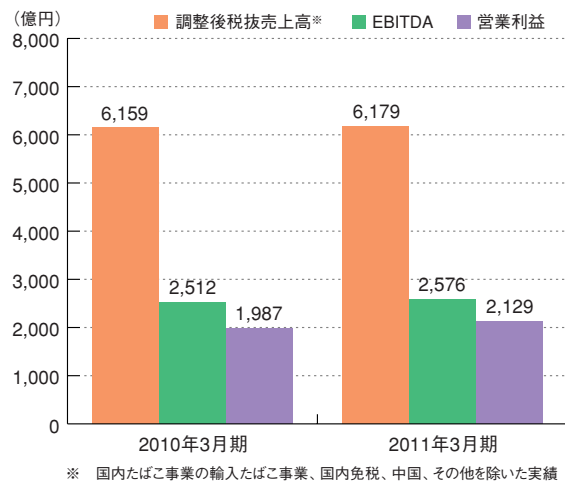


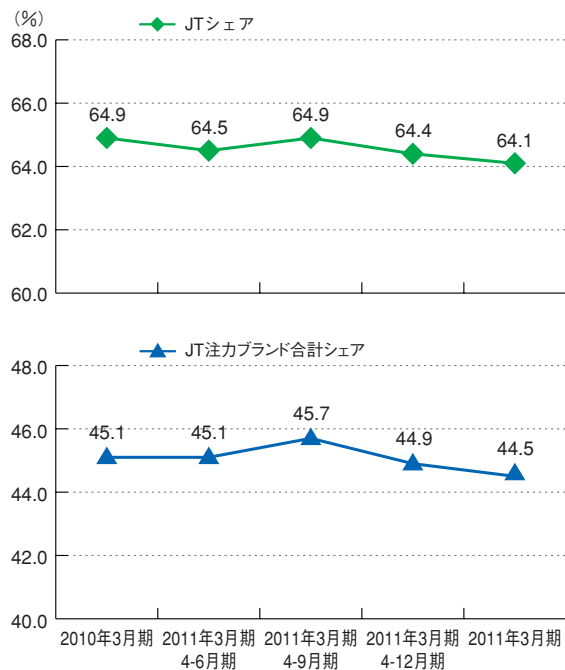
表2 JT販売数量

(単位：億本)

	4-6月期	4-9月期	4-12月期	通期
2010年3月期	390	786	1,174	1,518
2011年3月期	359	865	1,068	1,346
増減	△ 7.9%	10.1%	△ 9.0%	△ 11.3%

は44.5%と減少しています。これは増税に伴う定価改定において銘柄ごとの価格上昇幅を異なったものとした影響に加え、震災による被災工場等での機能停止、材料品等調達先の状況等による、一部銘柄における欠品及び全銘柄の一時的な出荷停止等の影響を受けたことによるものです。

図3 JT製品およびJT注力ブランドの市場シェア



海外たばこ事業

海外たばこ事業の2010年は、各国での景気後退に伴う総需要減少や規制強化等、厳しい事業環境にありましたが、下半期には多くの市場において総需要減少は落ち着きを見せ、回復の明るい兆しが見られました。その結果、総販売数量は、1.5%減の4,284億本となったものの、グローバル・フラッグシップ・ブランド (GFB) 販売数量は2.7%増の2,498億本となりました。

シェアについては、ほぼすべての主要市場に

おいて前年水準を上回り堅調に推移しています。

ドルベース調整後税抜売上高、EBITDA（営業利益＋減価償却費）は、販売数量の減少影響に加え原材料コスト増加の影響等を受けたものの、GFBの堅調な成長及び単価上昇効果により、それぞれ5.6%、10.7%の成長となりました。なお、円ベースEBITDAは、円高影響を受けたものの、3.8%の増益となりました。

図4 海外たばこ事業実績

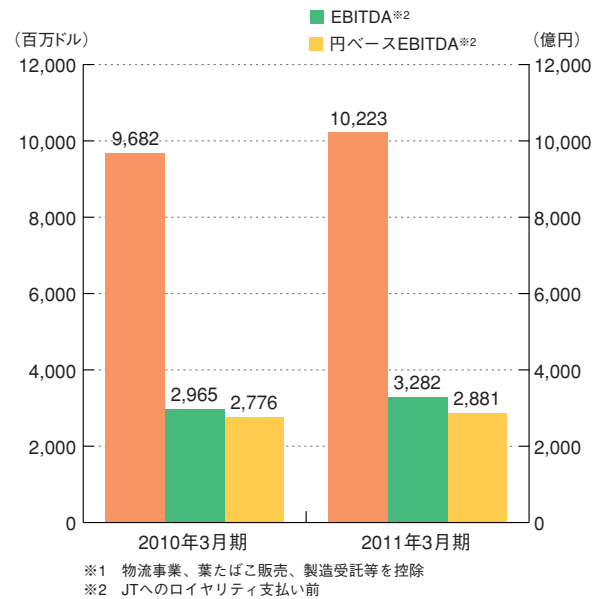


図5 主要市場のシェア

	2009年12月	2010年12月
イタリア	18.5%	19.7%
フランス	14.8%	16.0%
スペイン	20.6%	20.8%
英国	39.2%	39.0%
ロシア	36.8%	37.0%
トルコ	19.0%	22.6%
台湾	38.0%	38.4%

※ ACニールセン、Logista、Altadis、JTI内部データより。12か月移動平均

表3 販売数量実績

(単位：億本)

	4-6月期	4-9月期	4-12月期	通期
2010年3月期	1,009	2,161	3,256	4,349
2011年3月期	941	2,047	3,195	4,284
増減	△ 6.8%	△ 5.2%	△ 1.9%	△ 1.5%

※ PB、製造受託を除き、シガー/パイプ/スヌース（かみたばこ）込み

(単位：億本)

	4-6月期	4-9月期	4-12月期	通期
2010年3月期	571	1,213	1,824	2,434
2011年3月期	546	1,183	1,851	2,498
増減	△ 4.4%	△ 2.5%	1.5%	2.7%

医薬事業

医薬事業については、グループ会社の鳥居薬品(株)における、経口そう痒症改善剤「レミッチカプセル」、抗HIV薬「ツルバダ配合錠」等の売上伸長や、既導出品にかかる一時金収入の増加により増収となりましたが、鳥居薬品(株)における、アレルギー疾患を対象とした減感作(免疫)療法薬等の導入に関するライセンス契約の締結に伴い、契約一時金を支払ったことにより研究開発費が増加したこと等からEBITDA(営業利益+減価償却費)は減益となりました。

臨床開発につきましては、高リン血症治療薬「JTT-751」が国内においてPhase3にステージアップしました。現在、臨床開発品目は、10品目となっています。

医薬事業 臨床開発品目 (2011年5月12日現在)

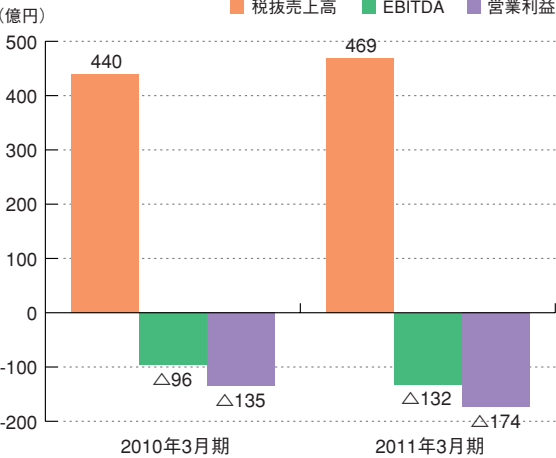
開発名	開発段階	主な適応症	詳 細	権 利
JTT-705 (経口)	国内:Phase2	脂質異常症	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETP活性を調節することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社ではPhase3)
JTT-130 (経口)	国内:Phase2 海外:Phase2	脂質異常症	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内:Phase1	HIV感染症	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出(同社ではPhase3)
JTT-302 (経口)	海外:Phase2	脂質異常症	HDL(高密度リポ蛋白:善玉コレステロール)中のコレステロールをLDL(低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール)に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内:Phase2	骨粗鬆症	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内:Phase2	鎮痛、過活動膀胱	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTK-656 (経口)	海外:Phase1	HIV感染症	HIV(ヒト免疫不全ウイルス)の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内:Phase3	高リン血症	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオフィーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導入(鳥居薬品と共同開発)
JTK-853 (経口)	海外:Phase1	C型肝炎	HCVの増殖に関わる酵素であるポリメラーゼを阻害する	
JTT-851 (経口)	国内:Phase1	2型糖尿病	グルコース依存的にインスリン分泌を促進し、高血糖を是正する	

※開発段階の表記は投薬開始を基準とする

前回(2011年2月7日)公表時からの変更点:JTT-751 国内臨床試験 Phase2からPhase3へ移行

今後とも開発品の着実なステージアップと研究開発パイプラインの充実を図っていきます。

図6 医薬事業実績



食品事業

食品事業については、飲料事業において夏場の猛暑による好影響、また基幹ブランド「ルーツ」を中心とした販売好調により増収となったものの、加工食品事業等における精白米等の卸売事業の廃止及び一部子会社を連結対象外とした影響に加え、業務用商品の売上が減少したことにより196億円減収の3,750億円となりました。

EBITDA(営業利益+減価償却費)は、飲料事業が堅調に推移したこと及び前年の水産事業における一時的な費用計上がなくなったことにより27億円増益の172億円となりました。

今後も、飲料事業においては、基幹ブランド「ルーツ」のさらなる強化に向け、各種施策に取り組みブランド価値の向上を図るとともに、引き続き効率化を追求し競争力を強化していきます。

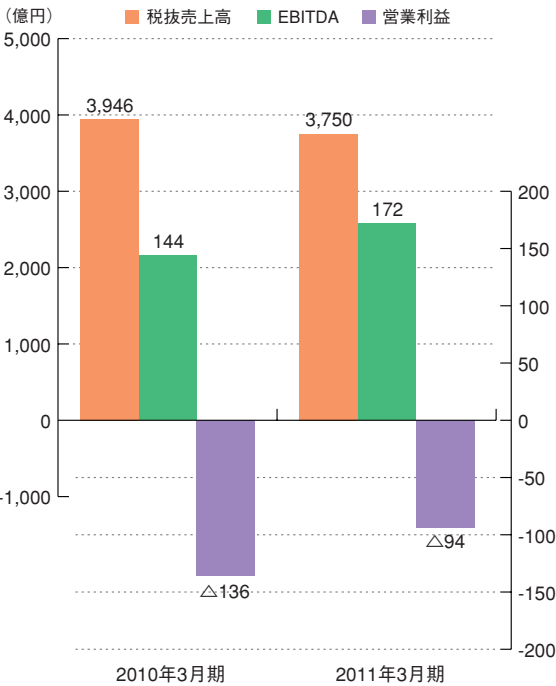
加工食品事業においては、付加価値の高い冷凍麺、米飯、焼成冷凍パンといったステープル品に戦力を集中することで収益力の強化を図っていきます。

調味料事業においては、酵母エキスを次代の成長の牽引力として育成する等の現行戦略を着実に遂行していきます。また、調達・製造から

販売までの効率的な事業推進体制の構築を図っていきます。

食の安全管理につきましては、引き続き、最高水準の食の安全管理を目指し、取り組みを継続していきます。

図7 食品事業実績



●配当

2011年3月期の期末配当については、1株当たり4,000円とし、中間配当と合わせて年間配当金は1株当たり6,800円とさせていただきます。のれん償却影響を除く配当性向は27.6%となります。株主還元は基本的に配当を中心に考えておりますが、2011年2月から3月までの期間において、約200億円の自社株買いも実施しました。また、2012年3月期の1株当たり年間配当金は8,000円を見込んでいます。

私どもは、中長期的な成長戦略の実施状況や連結業績見通しを踏まえつつ、資本市場における競争力ある株主還元を目指していきます。

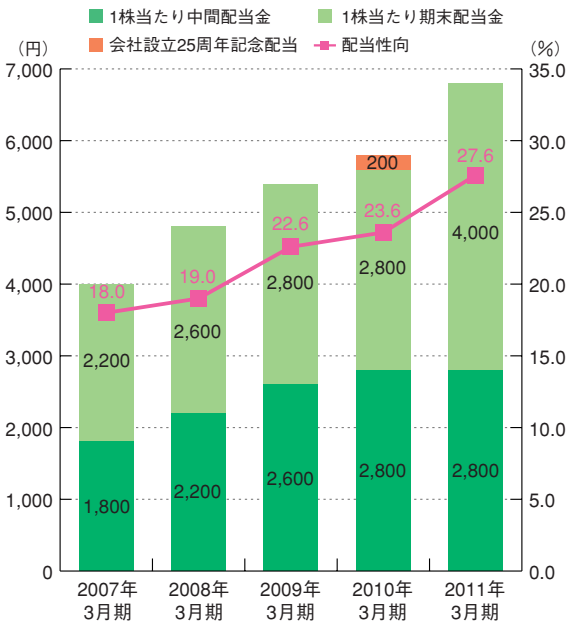
配当については、のれんの償却影響を除いた上で、連結配当性向30%を目指し、安定的、継続的な1株当たり配当金の引き上げに努めています。

●2012年3月期(2011年度)業績予想

2012年3月期の業績予想については、2011年3月11日に発生いたしました東日本大震災による影響を合理的に見積もることが困難であることから、一定の前提を置いた上で、調整後売上高及びEBITDA（営業利益＋減価償却費）についてレンジで開示することといたしました。営業利益、経常利益及び当期純利益につきましては、第1四半期決算発表時に公表する予定です。

事業別の予想としましては、国内たばこ事業において、販売数量は、昨年10月の増税・定価改定による需要減の影響等による減少を見込んでいます。加えて、震災に伴う臨時の措置により、特に第1四半期に大幅な数量減少を見込む

図8 1株当たりの配当金の推移



とともに、供給再開後の需要変化による一定の影響等を見込んでいます。

海外たばこ事業では、単価／ミックス効果に加え、為替の好影響もあることから、増収増益を見込んでいます。

医薬事業では、グループ会社の鳥居薬品（株）における「レミッチカプセル」「ツルバダ配合錠」等の売上伸長に伴い、増収を見込んでいます。一方、EBITDAについては、研究開発費の増加を見込むことに加え、前年度は既導出品に係る開発進捗に伴う一時金収入があったことから減益を見込んでいます。

食品事業では、加工食品事業等において2010

年度と同水準の売上を見込んでいます。一方、飲料事業では自動販売機等の販路で震災影響による売上減を見込んでいるものの、現時点で正確な影響額を見積もることが困難であるため一定の前提を置いた上でその減収影響の程度を見

込んでいます。EBITDAにつきましては、戦力集中による収益力強化を図ることに加え、事業全般において引き続きコスト削減に努めることで増益を見込んでおります。

表4 2012年3月期(2011年度)業績予想

(単位: 億円)

	2011年3月期実績	2012年3月期見込	増減
調整後売上高 ※1 ※2	19,566	19,250～19,700	△316～133
EBITDA ※3	5,411	5,400～5,740	△11～328

※1 従前の調整後税抜売上高は調整後売上高に名称変更

※2 たばこ税、国内たばこ事業における輸入たばこ・国内免税・中国事業・その他及び海外たばこ事業における物流事業・葉たばこ販売・製造受託・その他を控除

※3 EBITDA＝営業利益＋減価償却費 キャッシュ・ベースの利益

配当

(単位: 円)

1株当たり配当金	6,800	8,000	1,200
----------	-------	-------	-------

●将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社または当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しています。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を

挙げるができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)			
科 目	前連結会計年度末 (2010年3月31日)	当連結会計年度末 (2011年3月31日)	増減金額
資産の部			
流動資産	1,195,843	1,247,820	51,977
固定資産	2,676,752	2,324,107	△ 352,645
有形固定資産	679,561	663,550	△ 16,010
無形固定資産	1,769,064	1,461,487	△ 307,577
のれん	1,387,397	1,147,816	△ 239,581
商標権	350,900	286,435	△ 64,464
その他	30,766	27,234	△ 3,531
投資その他の資産	228,127	199,069	△ 29,057
資産合計	3,872,595	3,571,927	△ 300,668

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)			
科 目	前連結会計年度末 (2010年3月31日)	当連結会計年度末 (2011年3月31日)	増減金額
負債の部			
流動負債	1,101,535	1,063,374	△ 38,161
固定負債	1,047,782	917,350	△ 130,431
負債合計	2,149,317	1,980,724	△ 168,592
純資産の部			
株主資本	2,072,501	2,142,025	69,523
その他の包括利益累計額	△ 423,387	△ 627,732	△ 204,345
新株予約権	564	763	198
少数株主持分	73,599	76,146	2,547
純資産合計	1,723,278	1,591,202	△ 132,075
負債及び純資産合計	3,872,595	3,571,927	△ 300,668

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)			
科 目	前連結会計年度末 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	当連結会計年度末 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)	増減金額
売上高	6,134,695	6,194,554	59,858
売上原価	5,022,637	5,074,074	51,437
売上総利益	1,112,057	1,120,479	8,421
販売費及び一般管理費	815,552	791,798	△ 23,754
営業利益	296,504	328,680	32,176
営業外収益	15,608	12,029	△ 3,579
営業外費用	56,736	28,222	△ 28,513
経常利益	255,377	312,487	57,110
特別利益	58,516	20,600	△ 37,915
特別損失	37,838	52,590	14,751
税金等調整前当期純利益	276,054	280,497	4,442
法人税等	131,303	130,889	△ 413
少数株主損益調整前四半期純利益	144,751	149,607	4,856
少数株主利益	6,302	4,646	△ 1,656
当期純利益	138,448	144,961	6,513

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)			
科 目	前連結会計年度末 (2009年4月1日から 2010年3月31日まで)	当連結会計年度末 (2010年4月1日から 2011年3月31日まで)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,024	399,638	79,613
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 84,057	△ 119,406	△ 35,349
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 250,398	△ 184,950	65,447
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,542	△ 5,604	△ 7,146
現金及び現金同等物の増減額	△ 12,888	89,676	102,565
現金及び現金同等物の期首残高	167,257	154,368	△ 12,888
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	194	194
現金及び現金同等物の期末残高	154,368	244,240	89,871

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



フランス

シェアの力強い成長、
市場順位第3位へ躍進



フランスの基礎知識



人口 6,500万人 (2011年時点)
GDP 2兆6,340億ユーロ
喫煙率 29.5% (男:33.9% 女:25.3%) (2007年時点)
為替レート 1ユーロ=約116円 (2011年5月時点)

販売数量

- キャメル、ウィンストンなど人気ブランドにおける新製品の投入により販売数量は堅調に推移
- 2007年以降、年平均5.14%と堅調に成長を継続

市場シェア

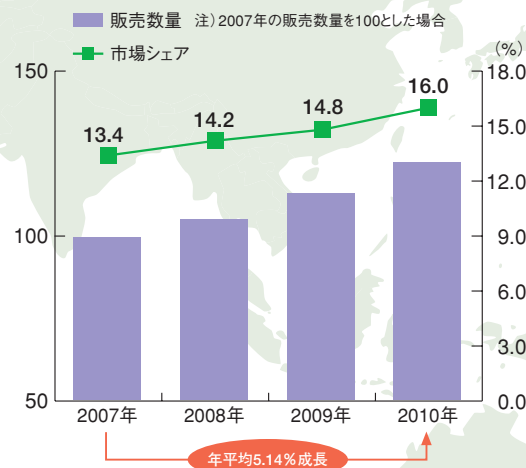
- フランス国内第3位 (16.1% : 2011年3月現在)
- 5年連続でシェア伸長を実現

市場シェア第3位に

フランスでは新製品の投入や商品改善によるキャメル、ウィンストンの成長が牽引し、シェア伸長を成し遂げています。このシェア伸長は、フランス国内におけるすべての競合他社よりも力強いものとなっており、2010年には、シェア順位を第3位へと成長させました。



フランスにおけるたばこ販売店の様子



代表銘柄

キャメル

フランス国内第3位のブランド。1913年にアメリカンブランドとして初めて発売され、現在、全世界100か国以上で販売されており、世界では第6位のブランド。

ブランドの拡充として、2006年10月に「キャメル・エッセンシャルフレーバー」、2010年2月に「キャメル・ブラック・アンド・ホワイト」を新規投入し、お客様のご好評を得ています。これら新製品の投入によりブランドの認知度は高まっており、「キャメル」ブランドの拡充策は成功を収めています。

ウィンストン

フランス国内第4位のブランド。1954年に発売開始。2007年には世界第2位のブランドに成長しました。フランスにおいてウィンストンは、最も早いスピードで成長したブランドであり、2007年から2009年にかけての3年間で、ブランド順位を8位から4位へ成長させました。人気の上昇を受け、ウィンストンからは、メンソールや100'Sサイズ、25本入り等、さまざまなバラエティーに富んだ新製品が投入されています。

RYO (手巻きたばこ)

人気ブランドのキャメル、ウィンストンからは RYO (手巻きたばこ) も発売しており、人気を博しています。

『高梁市郷土資料館』 [岡山県]



「備中葉」の栽培が育んだ 町の歴史や文化を訪ねて……

“日本三大山城”のひとつとされる「備中松山城」の城下町・高梁市。古き良き日本の原風景が残されているこの町に、『高梁市郷土資料館』があります。この資料館には、市民の協力によって収集された生活用具などとともに、たばこに関する資料が数多く展示されています。

なぜたばこの資料が……？それは、高梁市を中心とした備中地方で、江戸時代の初頭から葉たばこの栽培が盛んに行われていたからです。

山々に囲まれたこの地域では、山野でも栽培ができる葉たばこは重要な商品作物であり、同地を治めていた備中松山藩も葉たばこの栽培を積極的に保護・奨励していました。

これが、「備中葉」という名で、日本中に知られるようになったのです。

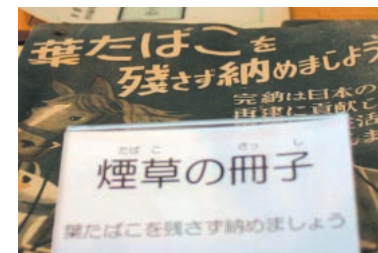
現在は栽培が行われていない「備中葉」ですが、『高梁市郷土資料館』には、この葉たばこに関する資料が数多く残されています。

江戸末期から昭和初期にかけて使用されていた農機具や、栽培記録などを綴った古文書類、たばこ関係の書籍類などが展示されており、これらの資料から、かつて栽培されていた「備中葉」の栽培・耕作の過程を知ることができます。

『高梁市郷土資料館』は、「備中葉」の数々の資料を通して、葉たばこの栽培が育んだ歴史や文化を、高梁の市史とともに後世に伝えているのです。



資料館の入口に立つ山田方谷の銅像。方谷は幕末に、疲弊していた備中松山藩の財政を動農政策によって立て直し、葉たばこの栽培を奨励した人物である



書籍類の展示コーナー。大正から昭和にかけての文献が多く、日本のたばこ史を解き明かす上でも貴重な遺産である



『高梁市郷土資料館』の建物は、明治時代に建てられた小学校の校舎を使用。さまざまな生活用具が所狭しと展示され、骨董市のような楽しさがある



キャップを被せたたばこ畑

備中松山藩のお膝元として栄えた高梁市には、市街を見下ろす臥牛山の山頂にそびえる「備中松山城」をはじめ、武家屋敷や商家など、江戸時代の名残をとどめる風景が点在しています。中でも、特に古い街並みが残されているのが、この地方に初めてたばこが伝えられたといわれる成羽町にある“吹屋”地区です。同地は江戸末期から「ベンガラ」という赤色顔料の生産で栄え、現在もこの顔料を塗装した赤い家屋が軒を連ねます。

高梁市の一部の地域では、今もなお葉たばこの栽培が続けられ、黄色種が作られています。毎年4月中旬ごろには、たばこの苗に霜よけのキャップを被せる、独自の作業が行われ、たばこ畑は、まるでたくさんのヨットが帆を広げたかのような風景へと変貌を遂げます。

たばこは縁が深い高梁の歴史や文化を肌で感じながら、キャップが広がるたばこ畑を散策してみるのはいかがでしょうか。

■高梁市郷土資料館

所在地 ● 〒716-0029 岡山県高梁市向町21
(JR伯備線「備中高梁」駅から徒歩10分)

お問い合わせ先 ● 0866-22-1479

開館時間 ● 9:00～17:00

休館日 ● 12月29日～1月3日

入館料 ● 大人：300円、小学生・中学生：150円(団体割引あり)



国内たばこ事業における製品供給の状況について

東日本大震災により被災されました皆様にご心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

3月11日に発生した地震の影響により、当社たばこ事業における北関東工場、郡山工場、友部工場、東日本原料本部及び当社グループ会社である日本フィルター工業(株)の多賀城工場において、設備が破損する等の被害を受けました。また、半製品ならびに材料品の輸送において、物流の停滞影響、また材料品調達先においても生産設備への被害等の影響を受けました。

このような状況を踏まえ、安定的・確実な製品供給の確保のための臨時の措置として、一時的に供給する銘柄数を限定させていただくことといたしました。現在も、銘柄数を限定した状態での出荷となっており、お客様ならびにたばこ販売店様には、多大なご不便とご迷惑をおかけいたしておりますことを深くお詫び申し上げます。

被災しておりました当社国内たばこ事業の北関東工場は6月末、郡山工場は5月から稼働を再開いたしました。また、半製品工場の友部工場は4月末、東日本原料本部は5月末から稼働を再開

しています。多賀城工場につきましては、復旧の時期等は未定となっておりますが、被災していない工場にて代替製造を行っています。

出荷銘柄数につきましては、被災事業所等の復旧等を受け、6月6日から36銘柄まで拡大いたしました。7月上旬には58銘柄、8月上旬には73銘柄での供給体制を確立できる見通しとなっています。

また、73銘柄以外で震災前に販売していた23銘柄については、以前より銘柄ごとの販売数量が少なく、今後においても、今回の長期の出荷停止によって震災前と同等の販売数量が見込めず、従来どおりの製品品質の維持・管理が困難となることが想定されることから、この度、出荷再開を断念し、廃止することといたしました。

73銘柄の出荷体制を8月上旬までに確実に整えることはもとより、これまで以上にお客様に満足いただける味・香り・デザイン・パッケージ形態等の改善に取り組んでまいります。併せて、主要ブランドを中心とした積極的な新製品の投入、効果的な販売促進活動の展開等を通して、早期に市場シェアを回復させるべく、全力を挙げて競争力の強化に取り組んでまいります。

	4月11日	4月25日	5月9日	6月6日	7月上旬	8月上旬
出荷銘柄数	7銘柄	16銘柄	25銘柄	36銘柄	58銘柄	73銘柄
追加銘柄数		＋9銘柄	＋9銘柄	＋11銘柄	＋22銘柄	＋15銘柄

東日本大震災に関するJTグループの被災地支援の取り組みについて

JTグループでは、被災者の皆様の救済や、被災地の復興に役立てていただくため、義援金の拠出や飲料・食料等の救援物資の支援を実施しています。



義援金 救援物資

- 日本赤十字社へ寄贈しました。
 - JT 3億円
 - 鳥居薬品(株) 5,000万円
- 被災地の支援として、以下の物資を寄贈しました。
- ミネラルウォーター「大地が磨いたきれいな水」(520mlPET) 約24万本、緑茶「辻利」(275gボトル缶) 約24万本等
 - テーブルマーク「ホームラン軒」(カップ麺)等 約5万食
 - ゼリー飲料、防寒着や家庭用医薬品、使い捨てカイロ、非常用ブランケット等の生活用品 計5,000万円相当

被災地における具体的な支援活動

テーブルマークグループは、3月18・19日の2日間、仙台市でうどんの炊き出しを行うとともに、各施設に商品をお届けし、冷凍うどんとカップ麺計4万食を被災地に提供しました。



仙台市での様子

また、4月6・7日の2日間、福島県須賀川市で、4月27日には福島市で炊き出しと冷凍うどん等計5,200食を被災地へ提供しました。

社員食堂における取り組み

JT本社及び東京支店の社員食堂において、被災地の農作物を積極的に使用することで、該当地域の農家を支援しています。

節電対応

JT所有のたばこ自動販売機や、(株)ジャパンビレレッジホールディングス等の飲料自動販売機の照明消灯への取り組みを進め、全事業所においても、照明消灯を含む省エネの励行を徹底しています。

JTグループ社員による募金の取り組み

JTグループでは、社員の募金額合計に、会社が同額を上乗せして寄贈するマッチングギフトプログラムを実施しています。5月12日現在、社員応募者は7,078名、募金額は6,030万円(マッチングギフトと合算すると1億2,060万円)となっており、社会福祉法人中央共同募金会(赤い羽根共同募金)に寄贈する予定です。

JTインターナショナル等、国内外グループ社員による募金についても実施しており、募金額は、約1億6,000万円となっています。

株主優待制度における募金の取り組み

今回の株主優待において、優待商品の贈呈に代えて、寄付をお選びいただける新しい選択肢をご用意し、株主様への優待商品に代えて、その相当金額をJTから社会福祉法人中央共同募金会へ寄贈します。

JTマーヴェラス・ 見事2冠達成!!

たくさんのご声援ありがとうございました!!

バレーボール



4か月におよぶ熱き戦いを繰り広げた「2010／11V・プレミアリーグ」を制し、初優勝を飾ったJTマーヴェラス。
2011年4月30～5月5日に開催された「第60回記念 黒鷲旗大会」でも見事初優勝し、今シーズン2冠に輝きました。

2010／11V・プレミアリーグ閉幕——

国内のバレーボールのトップチームが頂点を争う「V・プレミアリーグ」。
この度の東日本大震災発生に伴い、3月6日終了時点での成績をもって全日程が終了することとなり、
JTマーヴェラスが優勝、JTサンダーズが第5位の成績で閉幕しました。

JTマーヴェラス



昨シーズンの雪辱を果たし、
見事リーグ初制覇!

今シーズンは、必ず優勝を手にするため、
チーム一丸となって戦ってきたJTマーヴェラス。常にファイナルラウンドを意識した戦いを展開し、20勝6敗でレギュラーラウンドを制し、創部1956年以來の「初優勝」で今リーグを終えました。

来シーズンの「V・プレミアリーグ」もこの勢いのまま、さらなるチーム力強化を図り、2連覇を目指します。



JTサンダーズ



来シーズンにつながる12勝。
最終成績第5位

昨シーズン、成績が振るわなかったJTサンダーズ。今シーズンは攻撃面を強化し、激しい戦いを繰り広げてきましたが、12勝12敗の第5位で終了。

惜しくも上位入賞はなりませんでした。今シーズンの戦いを来シーズンに生かし、上位入賞のみならず「優勝」を目指し、次なる戦いに挑んでいきます。



「第60回記念 黒鷲旗大会」JTマーヴェラス初優勝!!

「V・プレミアリーグ」の勢いそのままに臨んだJTマーヴェラス。
安定した強さを発揮し、今シーズン最終戦を見事初優勝で飾りました。



予選グループ戦を3連勝し、1位で通過したJTマーヴェラスは、準々決勝の上尾メディックス戦、準決勝のトヨタ車体クインシーズ戦に快勝。最終日には、本大会初優勝をかけて決勝の相手、NECレッドロケッツとの一戦に挑みました。第1セットの序盤こそリードを許すものの、徐々に攻撃のリズムをつかみ試合の主導権を握ると第1セットを先取します。第2セットは、中盤以降は相手の粘り強いレシーブに攻撃を決めきれず苦しい展開となります。そのまま流れを引き戻すことができず落としてしまいましたが、第3セットは気持ちを切り替え、攻撃のリズムをつくり奪い返します。続く第4セットも勢いそのままに多彩な攻撃で相手を圧倒し、セットカウント3-1で勝利。「2010／11V・プレミアリーグ」に続いて本大会初優勝を飾り、2冠を達成。最高の形で今シーズンを終えました。



NEWS

■ 青少年育成に関するNPO助成事業 2011年度の助成先団体を決定

JTは、「社会福祉」分野における活動の一環として、地域コミュニティの再生と活性化を推進し、より良い社会を築いていくためには、人材育成、とりわけ次世代の社会を担う「青少年の育成」が重要との認識から、その健全な育成のため、非営利法人が地域と一体となって取り組む事業を支援しています。

2011年度については、全国から193件の応募申請があり、選考の結果、45件、総額約5,500万円の助成を決定しました。

また、本助成事業は、1999年度より開始し、2011年度は13年目にあたり、今年度の助成を含め、全国延べ837件、累計助成総額は10億円を超えることとなります。これを記念し、今年度

より、全国各地の事業所等において前年度助成団体による活動成果発表会を助成金交付式と併せて開催する予定です。今後も、社会の一員として、継続的に社会貢献活動へ取り組んでいきます。



2010年度助成先NPO法人
軽井沢教育ネットワーク(長野県)
「軽井沢自然教室事業」



2010年度助成先NPO法人
ホワイトベル(群馬県)
「長野堰廻りのお散歩コース化計画」

■ JTの植林／森林保全活動 「JTの森 小菅」森林保全協定を5年間更新

2006年に協定を締結し、JTと地域の方々が森林保全に取り組んできた「JTの森 小菅」。本年3月で協定期間が満了を迎えましたが、継続した手入れが必要であるため、山梨県小菅村との森林保全協定を更新し、さらに5年間の活動に取り組むこととしました。

協定対象林は1期目と同じ範囲で、未整備のスギ・ヒノキ林では新たに間伐と広葉樹の植栽を、また、カラマツ林では苗木周りの下草刈りなど、これまでに植栽した広葉樹の保育を継続していきます。協定林は、首都圏を潤す多摩川

と相模川の2つの一級河川の源流部に位置する重要な水源の森。引き続き、緑のダム機能を高める「混合林づくり」を目指していきます。



TableMark

で
簡単
レシピ!



お手軽ソースが味の決め手! 「豆腐わさびだれうどん」

手軽につくれる豆腐わさびソースでいただく冷たいうどんは、さっぱり食べたい夏にぴったり! 見た目もおしゃれだから、ちょっとしたおもてなしにもどうぞ。

テーブルマークの
“冷凍うどん”を使って
手軽に簡単!

材料 (1人分)

テーブルマーク「冷凍さぬきうどん」 1食分
(200g×1玉)
絹ごし豆腐 1/2丁
練りわさび 小さじ1/2～
塩 少々
オクラ(ゆでたもの) 1～2本
ボイルえび 適量
スプラウト or カイワレ大根 適量
めんつゆ(ストレート) 適量

■ 下準備

「冷凍さぬきうどん」は、電子レンジ(600W)で3分30秒加熱する
※冷水で洗い、水気をよく切る

■ 作り方

1. 絹ごし豆腐を泡立て器などで滑らかにし、わさびと塩を混ぜ合わせる
2. 器にうどんと1を盛りつける
3. 残りの具材をのせ、めんつゆをかけて召し上がれ

ほかにも、おすすめレシピたくさん公開!

www.tablemark.co.jp/

テーブルマーク

検索

株式の諸手続きについて

(1) 株式の諸手続きについてのお問い合わせ先は？

当社株式の手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

◎住所変更の手続き

株主総会招集ご通知、配当金領収証または配当金計算書、株主優待商品等はご登録のご住所あてにお送りさせていただいております。引越等により、ご住所に変更があった場合には、口座を開設されている証券会社へ速やかにお届出をお願いいたします。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へ速やかにお届出をお願いいたします。

(2) 配当金の受取方法は？

◎配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。**口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。**現金受取をご選択の株主様には、配当金領収証をお送りいたしますので、お近くのゆうちょ銀行または郵便局でお早めにお受け取りください。口座振込をご選択の株主様には、あらかじめご指定いただいた銀行・ゆうちょ銀行等の口座に配当金が振り込まれます。また、期末（中間）配当金計算書もお送りいたします。

口座振込には以下の3通りの方法がございます。

①個別銘柄（保有する各株式）ごとに銀行等の預金口座を指定してお受け取りいただく方法
保有する株式ごとにお受け取りいただく銀行等の預金口座を分けることができます。

②保有する株式の配当金を一括して銀行等の預金口座でお受け取りいただく方法
保有する株式の配当金を一括して、登録した

振込先（銀行等の口座）でお受け取りいただけます。振込先の指定は、1つの金融機関に限ります。

③証券会社の取引口座でお受け取りいただく方法
証券会社の取引口座（複数の証券会社に残高がある場合は、残高に応じて配分します）で配当金をお受け取りいただけます。特別口座をご利用の株主様はご利用できません。

◎配当金のお受取方法の変更

口座を開設されている証券会社へご連絡ください。複数の証券会社に口座がある場合も、1つの証券会社で手続きができます。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へご連絡ください。

(3) 配当金関係の書類が届かない場合、または配当金領収証を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受け取りいただけない株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行株式会社へご連絡ください。

●特別口座に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
特別口座に関する手続き用紙のご請求
フリーダイヤル 0120-244-479
(三菱UFJ信託銀行株式会社24時間テレホン自動音声応答サービス)

役員

取締役			執行役員		
取締役会長	涌井 洋治		社長		木村 宏
代表取締役社長	木村 宏		副社長	(コンプライアンス・財務・監査担当)	武田 宗高
代表取締役副社長	武田 宗高		副社長	(たばこ事業本部長)	小泉 光臣
代表取締役副社長	小泉 光臣		副社長	(CSR・コミュニケーション・総務担当)	志水 雅一
代表取締役副社長	志水 雅一		副社長	(企画・人事・法務・食品事業担当)	新貝 康司
代表取締役副社長	新貝 康司		専務執行役員	(たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者)	飯島 謙二
取締役	大久保憲朗		専務執行役員	(医薬事業部長)	大久保憲朗
取締役	岩井 陸雄		専務執行役員	(法務責任者)	下村 隆一
			常務執行役員	(たばこ事業本部 R&D責任者)	岩波 正
			常務執行役員	(たばこ事業本部 事業企画室長)	佐伯 明
			常務執行役員	(財務責任者)	宮崎 秀樹
			常務執行役員	(総務責任者)	千々岩良二
			執行役員	(たばこ事業本部 渉外責任者)	山下 和人
			執行役員	(たばこ事業本部 原料統括部長)	村上 伸一
			執行役員	(たばこ事業本部 中国事業部長)	川股 篤博
			執行役員	(たばこ事業本部 製造統括部長)	佐藤 雅彦
			執行役員	(医薬事業部 医薬総合研究所長)	春田 純一
			執行役員	(飲料事業部長)	永田 亮子
			執行役員	(人事責任者)	松本 智
			執行役員	(コミュニケーション責任者)	田中 泰行
			執行役員	(企画責任者 兼 食品事業担当 兼 経営企画部長)	寺島 正道

■株価の推移 1994年10月27日上場～2011年5月 当社株価（東証終値、月間）

